

飯田のエコエネルギー見学会プラン

9月8日(日)

名古屋駅集合(集合時間・集合場所は別途ご案内)

名古屋 16:00 発 名鉄 BC バス乗り場 (高速バス)

18:06 飯田駅前 着

宿泊『天空の城 三宜亭本館』 飯田市追手町2丁目 641-10 電話:0265-24-0242

「飯田城趾に建つツツジ庭園に囲まれた閑静な旅館です。客室からの眺望も抜群！山河の四季の彩りを盛り込んだ本格会席料理も美味。」だそうです。おひさま進歩エネルギー(株)の省エネ事業で、排湯から熱エネルギーを再利用する省エネルギー設備のヒートポンプを導入しています。

9月9日(月)

午前9:00～11:30まで

飯田市役所で、以下の研修を行います。

1. 環境モデル都市の取り組み
2. 太陽光市民共同発電(おひさま進歩エネルギー(株))の取り組み

(おひさま進歩エネルギーは、2005年、全国初の市民出資による太陽光発電ファンドを立ち上げ、2億0150万円の出資を得て事業を開始。現在162か所に太陽光発電所を設置(市内の幼稚園や保育園などの公共施設)。その他、商店や中小規模事業所を対象とした省エネルギー(エスコ)事業、カーボンオフセット(グリーン電力)事業、ペレットボイラによる温熱供給サービス(木質バイオマス事業)を実施しています。)



午後1:00～3:30 『風の学舎』視察 飯田市下久堅下虎岩 2160-1

『風の学舎』とは 以下は、山法師のHP(<http://yamabousi.net/>)から

市民の有志が参加する「NPO 法人いいだ自然エネルギーネット山法師」が平成14年から企画し、平成16年から約4カ年の歳月を費やし会員の手作りで建設した施設。完成は平成20年5月。 **建設および運営の基本的なコンセプトは**

- (1)化石燃料使用ゼロの運営
- (2)伝統技術と現代技術の組み合わせによる新しい住まい方の提案
- (3)飯田下伊那の風土に適した材料の仕様。地域景観との調和
- (4)廃棄物の削減と敷地内処理
- (5)スローライフ体験館としての運営
(伝統文化、伝統料理、伝統技術を生かした暮らしの体験)
- (6)都市と農村との交流拠点

当日は、以下の視察・研修を行います。

1. 風の学舎のエネルギー施設の見学 (20～30分)

「風力発電機、太陽光発電パネル、太陽熱温水器、雨水利用施設、ヒートウォール、
ウッドボイラー、薪ストーブ、竈、囲炉裏、炭焼施設」

2. 自然エネルギー社会を築く (60分～70分)

今日のライフスタイルやエネルギー消費を前提としては、化石資源やウランに頼るだけでも
また、一方で自然エネルギーに頼るだけでも持続可能な社会は築けません。我々のライフスタイル
をどうしなければならないのか。エネルギーと暮らしとの関わりについて学んでみましょう。

- (1) 日本のエネルギー事情
- (2) 暮らしとエネルギー
- (3) 自然エネルギーの利用推進と課題
- (4) 2050年のエネルギー確保
- (5) 省エネ型社会を築く「暮らしやまちづくりを見直す」
・各地の事例に学ぶ

3. 風の学舎からのメッセージ「持続可能な地域社会を目指して」 (60分～70分)

環境保全と地域活性化のヒントは地域資源の最大活用にある

- (1) 限界集落化している下伊那小規模町村の状況
- (2) 行政に頼るだけでなく地域自らが地域資源の活用に取り組む必要性
- (3) 地域の取り組みが我田引水でなく社会の課題の解決に資するようにすることで、都市部の
人的物的資源を地域に呼び込み結果として地域の活性化につなげる
- (4) 当 NPO 活動紹介と風の学舎からのメッセージ
 - ① エネルギーの地産地消
 - ② 地域の材と工法で住宅建築
 - ③ 半農半Xのライフスタイルを広める



飯田駅前 16:34 発

18:35 着 名鉄BCバス乗り場(高速バス)

名古屋駅 19:03 発 ←(名古屋～新横浜のチケットは各自ご用意下さい)

20:24 新横浜 着(のぞみ 248号)

▼名古屋～飯田間の交通費、宿泊費、見学料金の個人負担はありません。

▼名古屋～飯田間の高速バスチケットはこちらでまとめて購入します。(京都から名古屋まで、名古屋から新横浜までは、各自ご用意下さい。)

「帰りは、どこかに寄りたい」「バスでなく飯田線に乗りたい」という方は「帰りのバスチケット不要」とお申し出下さい。

▼お申し込みは、8月5日まで。

(参加人数20名に達した時点で締め切らせていただきます)

▼お申し込み先は、ファクシミリ:045-664-7822

電子メール:kana-ombuds@nifty.com